


## 令和5年度 地域おこし協力隊アドバイザープロフィール

ふりがな	たぐち たろう			
氏名	田口 太郎			
所属・役職	徳島大学大学院・准教授 合同会社暮らしと自治と創造・業務執行社員			
所在地	徳島県			
略歴	<p>1976年神奈川県生まれ。早稲田大学理工学部建築学科、同大学院修了。小田原市政策総合研究所特定研究員、早稲田大学助手、新潟工科大学建築学科准教授を経て、現職。博士(工学)。 「まちづくりの自律化プロセス」をテーマに研究、実践を行っている。自身も徳島県の過疎集落に移住し、古民家を改修して地域生活を行っている。</p>			
地域おこし協力隊に関する実績	これまでの経験業務・研究活動	<p>地域おこし協力隊の前身となった、新潟県における「地域復興支援員」向けの研修プログラム、人的支援に関する研究を実施。現在、総務省が主催する初任者研修、ステップアップ研修プログラムのベースとなる。他に地域おこし協力隊施策の拡充に当たって総務省に助言などを行ってきた。他にも、移住施策、関係人口施策についても地域にとっての意義を中心として研究や提言を行っている。</p>		
	これまでに関与した地域おこし協力隊に関するプロジェクト	<p>地域おこし協力隊向けの全国研修の企画・実施(総務省と協働、2011年～現在)。協力隊向け研修ツールとして「地域づくりコーディネイト・ゲーム」の開発、各種研修プログラムやワークショップの開発。各地域での協力隊、および担当職員向け研修。など</p>		
助言可能な内容	<input type="radio"/>	募集企画の作成・魅力度の向上	<input type="radio"/>	任期終了後の支援
	<input type="radio"/>	受入体制づくり・受入の増強	<input type="radio"/>	都道府県OB・OGネットワークの推進
	<input type="radio"/>	市町村のサポート体制の強化	<input type="radio"/>	その他(詳細は以下に記載)
		情報発信の強化		
	<input type="radio"/>	「地域おこし協力隊インターン」等の活用推進		
自治体へのメッセージ	<p>協力隊施策の成否は受け入れ自治体の企画の精度に大きく影響を受けることは、こここのところ話題になる炎上案件を通じても明らかです。小手先のテクニックで募集を増やす、というよりも丁寧な企画でよい取り組みを生み出していきたいと考えております。</p>			